

第2章 基本構想



第1節 まちの将来像を考える上での大切な考え方(基本理念)

本市におけるまちの将来像を検討するに当たり、特に大切にしたい考え方を次のように定めます。

また、この考え方は、まちづくりを進める際にも大切な考え方として捉えていきます。

①誰もが安全・安心して過ごせるまちづくりを進める

市民一人一人が住み慣れた地域の中で、安全で安心して心豊かな生涯を過ごせる、また、本市への移住者及び観光客が安心して過ごすことができるまちづくりを進めます。

②市民の知を結集し、全員参加でまちづくりを進める

本市のまちづくりの課題や市民ニーズは多様化していることから、市民、事業者及び行政、それぞれが知を結集し、まちづくりに取り組む多様な主体が連携する仕組みを構築することが求められます。市民が積極的に参画できる社会を構築するとともに、市民の創意工夫による活動を促進することにより、市民が持てる力を最大限に発揮し、想いを形にできる全員参加のまちづくりを進めます。

③地域の誇りである資源を保全し、磨き上げ、魅力的なまちづくりを進める

本市は、青い海や緑の山などの自然環境や火山の恩恵でもある湯量豊富な温泉など、豊かで多様な地域資源に恵まれています。地域の誇りであるこれら資源を保全するとともに磨き上げることで魅力的なまちづくりを進めます。

④こころ豊かな人を育む

社会情勢の変化が激しく、新たな時代に対応したまちづくりを進めるためには、“市民力”が重要になります。心と身体健康づくり、互いを尊重し思いやりの心を醸成する教育等の実施により、健康で心豊かな市民を育むとともに、観光都市として本市を訪れる全ての方に笑顔を提供できるようおもてなしの心の醸成に努めます。

⑤多様なつながりと交流をまちづくりに生かす

住民と移住者との交流、市民の世代間交流、国際交流等、人と人、あるいは周辺市町や姉妹都市とのつながりと交流その他の多様なつながりと交流を生み出し、それらを育み、多様性を受け入れる土壌を醸成し、本市のまちづくりに生かしていきます。

⑥新しい時代に対応した持続可能なまちづくりを進める

Society5.0の到来やSDGsの取組、人生100年時代構想等、我が国は新たな時代に突入しようとしています。デジタルの力を活用するとともに、自然環境や歴史文化等の本市ならではの魅力を守り、生かしながら、新たな時代に対応したまちづくりを展開します。



第2節 まちの将来像

まちづくりを進めるための考え方を踏まえ、伊東市が目指す将来像を次のように定めます。

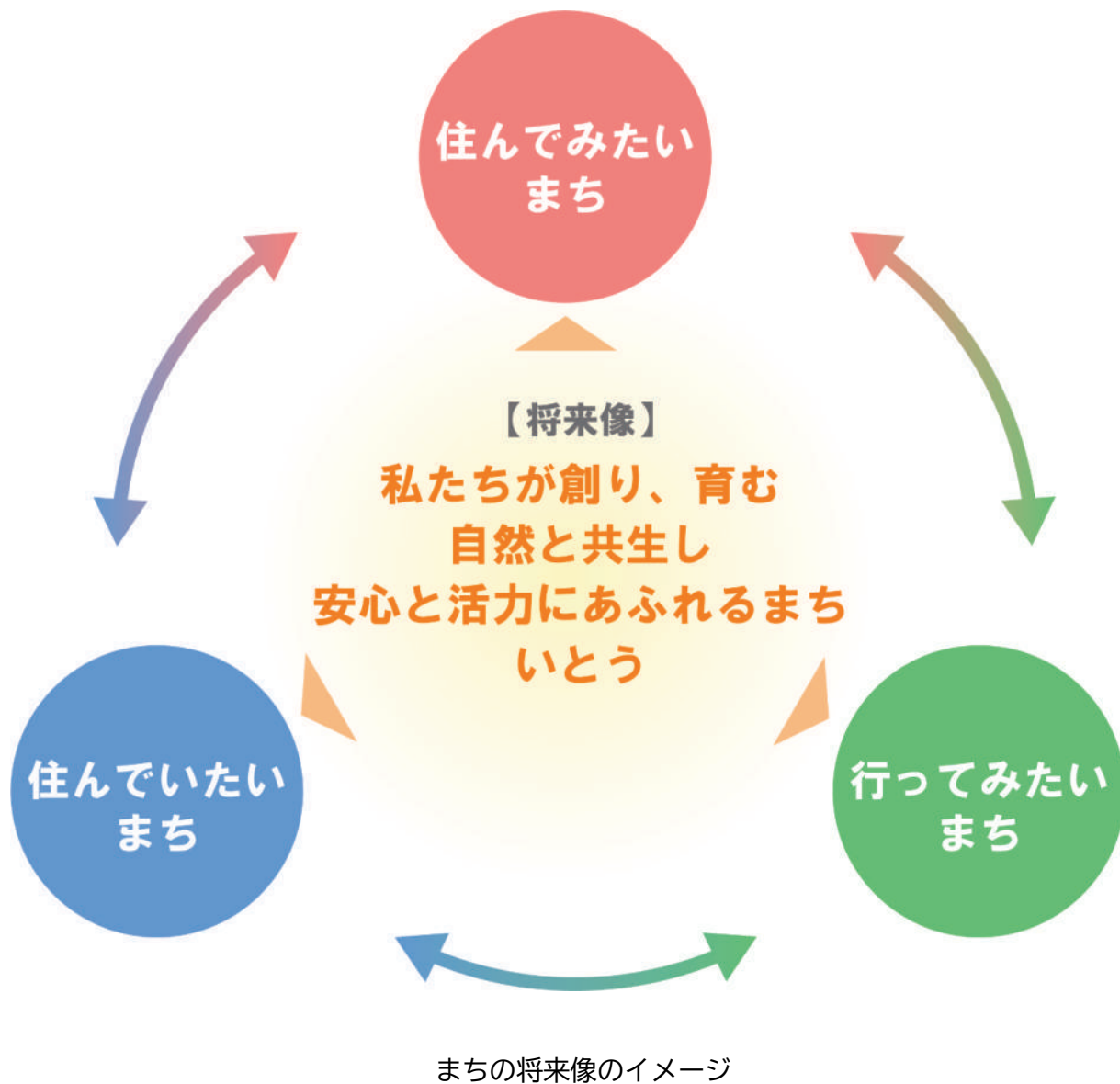
私たちが創り、育む 自然と共生し 安心と活力にあふれるまち いとう

～行ってみたい 住んでみたい 住んでいたい まちづくり～

本市の持つ恵まれた自然景観や温泉を始めとした観光資源、また、文化財や郷土芸能を始めとした歴史文化資源等は、かけがえのない大切な地域資源です。

私たち伊東市民は、観光客や移住者等の様々な考え方を受け入れながら、これらの地域資源を生かし、自ら伊東を創り、育むとともに、誰もが安心して過ごすことができ、活力にあふれるまちを目指します。

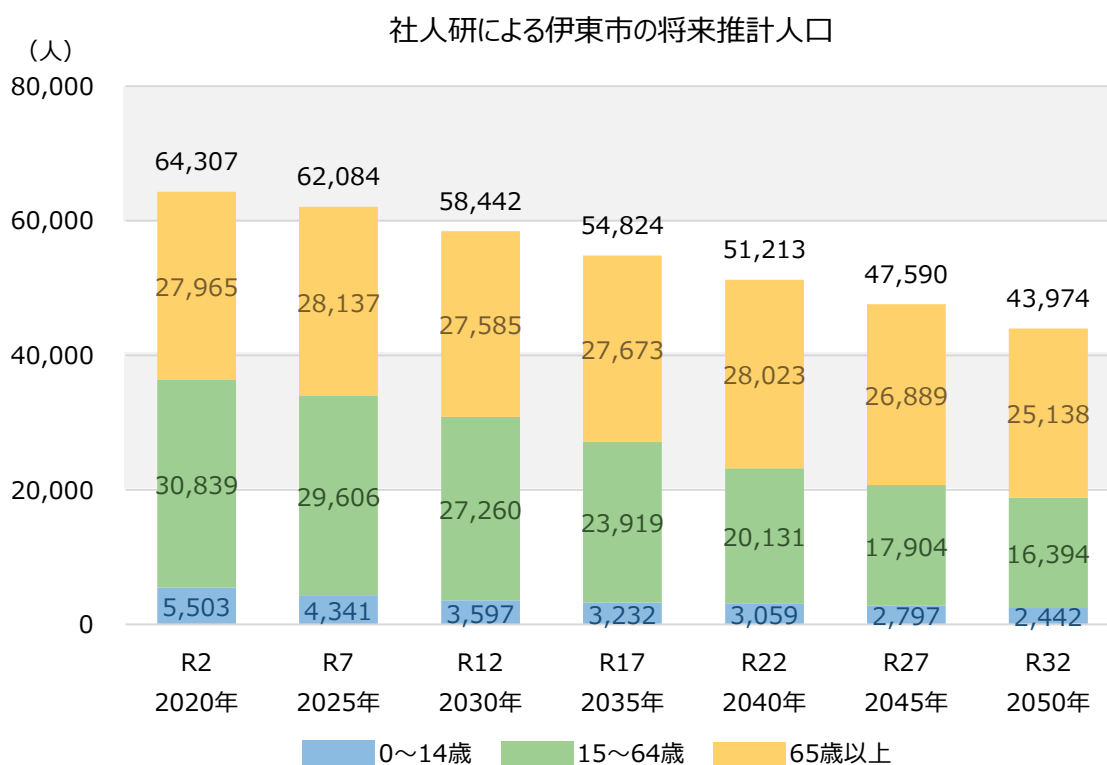
市外に住む人からは、「行ってみたい、住んでみたい」、市民には「住んでいたい」と感じてもらえるまちづくりを、全員参加で取り組んでいきます。



第3節 将来人口

(1) 将来推計人口

社人研では、伊東市の将来人口は減少し続け、令和12年（2030年）には58,442人、令和27年（2045年）に47,590人、令和32年（2050年）には43,974人まで減少することが推計されます。また、令和12年（2030年）には老年人口（65歳以上）の割合が生産年齢人口（15～64歳）の割合を上回ると推計されます。



	R2 2020年	R7 2025年	R12 2030年	R17 2035年	R22 2040年	R27 2045年	R32 2050年
65歳以上	人	27,965	28,137	27,585	27,673	28,023	26,889
	%	43.5%	45.3%	47.2%	50.5%	54.7%	57.2%
15～64歳	人	30,839	29,606	27,260	23,919	20,131	17,904
	%	48.0%	47.7%	46.6%	43.6%	39.3%	37.6%
0～14歳	人	5,503	4,341	3,597	3,232	3,059	2,797
	%	8.6%	7.0%	6.2%	5.9%	6.0%	5.9%
不詳	1,184	—	—	—	—	—	—
不詳を除く	64,307	62,084	58,442	54,824	51,213	47,590	43,974
合計(人)	65,491	62,084	58,442	54,824	51,213	47,590	43,974

※年齢別構成比率の値は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100%とならない場合がある。

※基準年は、令和2年10月1日現在の国勢調査人口

(2) 将来目標人口

伊東市は、本格的な人口減少社会が到来する中、まちの将来像である「私たちが創り、育む 自然と共生し 安心と活力にあふれるまち いたう」を実現するために、将来推計人口の結果を踏まえ、令和12年（2030年）における目標人口を60,000人と設定します。

また、将来の人口構成についても目標値として設定します。

■目標人口

	令和12年（2030年）
0～14歳	4,050人（6.75%）
15～64歳	28,420人（47.37%）
65歳以上	27,530人（45.88%）
総人口	60,000人



⑤ オレンジビーチ



海岸遊歩道が整備され、フェニックスのゆれる南国ムード漂うビーチです。温泉街にも近く、水着のまま出かけて戻ってから温泉にゆっくりとひたれます。



按針祭（8月8日～10日）のフィナーレを飾る海の花火大会では、約10,000発の花火が海上5ヶ所から同時に打ち上げられて伊東の夜空を華やかに彩ります。

⑥ 汐吹海岸



伊東港から川奈港へ向かう途中にある、沖に手石島を望む汐吹海岸。1番の見どころは汐吹岩で、汐の干満によって洞穴から潮が吹き上がります。